

PHILIPS

Healthcare

超音波診断装置

第15回 Philips 超音波診断装置 Webセミナー 「経頭蓋カラードプラ法 (TCCFI) を極める」

座長 : 黒田 泰弘 先生

(香川大学 医学部・医学系研究科 医学部救急災害医学講座教授)

基調講演

神経集中治療におけるTCCFI：
まずこれで脳血流を観よう！

演者 : 黒田 泰弘 先生

(香川大学 医学部・医学系研究科 医学部救急災害医学講座教授)

ご講演

TCCFIをマネジメントに活かす！

演者 : 藤本 佳久 先生 (TMG あさか医療センター 神経集中治療部)

■日時

2021年8月4日 (水) 19:00-20:00

■お申込み方法

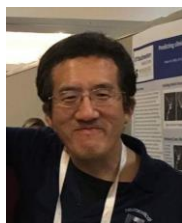
こちらの[リンク](https://v2.nex-pro.com/campaign/26161/apply)か、または右のQRコードよりお申込みください。
<https://v2.nex-pro.com/campaign/26161/apply>

ご参加登録を頂きますと、当日ご参加いただけない場合にも、
オンデマンド配信開始時にご案内が届きご視聴が可能になります。



第15回 Philips超音波診断装置Webセミナー 「経頭蓋カラードプラ法 (TCCFI) を極める」

基調講演



神経集中治療におけるTCCFI： まずこれで脳血流を観よう！

演者：黒田 泰弘 先生

(香川大学 医学部・医学系研究科 医学部救急災害医学講座教授)

内容紹介：

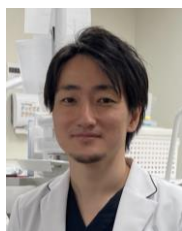
皆さん。こんにちは。“神経集中治療”をご存知でしょうか？神経集中治療はダメージを受けていても“それを評価することが難しい”つまり“遠い存在であったかもしれない脳”に“想いを馳せ”、脳ダメージをそれ以上悪化させないことを目的とする集中治療です。一度ダメージを受けた脳はダメージに更にやられやすいです。それではどうやって脳のダメージを観るのでしょうか？脳といえば「意識レベルとか麻痺や痙攣、せん妄、で観るしかないし、あとはCTやMRIでしょう」と思われているかもしれませんが。頭蓋内圧モニタリングなんか大変そうですね。

今日は、ICUにおいて皆さんが日々使われている超音波検査を頭にもってくるだけで、大きな世界が開けるTCCFI (transcranial color flow image) をご紹介したいと思います。すなわちTCCFIによって理屈抜きで脳血流をリアルタイムに手に取って観ることができます。

でもいろんな疑問も出てきますよね？例えば、中大脳動脈の血管径はPaco2の変化に応じて変化する？しない？中大脳動脈の末梢領域での脳血管攣縮もM1とかで評価できるのかな？ここではそんなことを考えながら脳酸素需給バランスの最適化という神経集中治療のコンセプトに沿ったTCCFIの果たす役割をお話します。

是非脳血流を手にして神経集中治療の世界に足を踏み込んでください。

セッション



TCCFIをマネジメントに活かす！

演者：藤本 佳久 先生 (TMG あさか医療センター 神経集中治療部)

内容紹介：

ICUにおける神経集中治療の重要性がますます認知されてきています。しかし本邦で活用できる脳神経モニタリングデバイスは限られているので客観的な指標から治療方針を決めることは難しいのが現状です。神経所見や画像所見から治療方針(案)を提案し、最終的にはエキスパート達の感覚に沿うか？を確認することが多いのではないのでしょうか？

TC-CFI(transcranial color flow image)は脳灌流も直接評価でき、臨床現場で主体的にマネジメントを決めるのに非常に役立つツールです。当て方については集中治療エコーハンズオンセミナーや神経集中治療ハンズオンセミナーでも紹介しておりますので、今回は「知識としては理解している」、「当てることは何となくできる」というところから「TC-CFIをベッドサイドで自在に操って臨床におけるdecision makingに活用できる」まで一気にレベルアップを目指します！

製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37フィリップスビル

お客様窓口 0120-556-494

03-3740-3213

受付時間 9:00~18:00

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

www.philips.co.jp/healthcare

